

履修コード/科目名称	563701 / 教育方法論 563702 / 教育とメディア		
開講年度・期	2021年 前期	開講曜日・時限	土曜日 4時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	鈴木 邦夫 (スズムラ クニオ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	具体的な授業映像や記録、関連資料の分析及びそれに基づく協議を通して、授業構成要素及び授業の計画・実施・評価の方法について体験的に学ぶ。		
到達目標(ねらい)	<p>本授業では、授業構成要素である目標、内容、指導方法、学習方法、指導組織・形態、学習組織・形態、学習環境・メディア、ICT機器の利用、学習評価、およびこれらを前提とした指導案の作成等々について、具体的な事例に基づいて理解を深めると共に、その工夫・改善のあり方について理解する。そのことにより、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。また、教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。</p> <p>また、ICTを利用した教材の開発やそれを利用した模擬授業を行ない、情報機器を活用した効果的な授業や適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。</p>		
授業スケジュール	第 1 回	授業の計画・内容	授業ガイダンス 過去に経験した授業について各自振り返り、それを共有し、教育方法・技術についてを学ぶことの意義を理解する。
		準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。 60分
	第 2 回	授業の計画・内容	授業の構成と授業設計 授業を構成している要素を分類整理し、それを構造化することで、教師に求められる授業設計の全体像と要素を理解する。
		準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。 60分
	第 3 回	授業の計画・内容	授業のカリキュラム これまでの学習指導要領の変遷と現学習指導要領の特徴を理解し、授業カリキュラムの前提となる事項について理解する。
		準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。 60分
	第 4 回	授業の計画・内容	力量向上の方法 教材研究と指導法研究について学び、教師としての力量向上のための方法を身につける。
		準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。 60分
	第 5 回	授業の計画・内容	授業形態 典型的な授業形態とその効果的な活用について学び、授業設計の段階で適切な授業形態を組み合わせることができるようになる。
		準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。 60分
	第 6 回	授業の計画・内容	一斉授業の技術 一斉授業を展開するための基礎的技術を、授業記録の分析と協議により学習する。
		準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。 60分
	第 7 回	授業の計画・内容	グループ授業の技術 グループ授業を展開するための基礎的技術を、授業記録の分析と協議により学習する。
		準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。 60分
	第 8 回	授業の計画・内容	個別授業の技術 個別指導を展開するための基礎的技術を、授業記録の分析と協議により学習する。

	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
第 9 回	授業の計画・内容	授業の評価 授業や学習の評価の種類やその具体的方法について学習する。	
	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
第 10 回	授業の計画・内容	アクティブラーニング アクティブラーニングの様々な方法について学習する。	
	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
第 11 回	授業の計画・内容	ICT利用（入門編） 授業におけるICT利用の入門として、実物投影機やプロジェクターなどの機器、写真、ビデオなどの表現メディアの活用の利点と活用方法について具体的に学習する。	
	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
第 12 回	授業の計画・内容	ICT利用（発展編） 授業におけるICT利用の発展的活用として、電子黒板、タブレット、デジタル教科書等の現状や機能について具体的に学習する。	
	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
第 13 回	授業の計画・内容	効果的なICTを活用した授業 電子黒板、タブレット、デジタル教科書を利用した先行的実践記録を通して、その効果的活用法や既存のアナログ教具、教材との組み合わせ活用について学習する。	
	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
第 14 回	授業の計画・内容	教材開発の方法 ICTを活用した教材開発の方法について学習する。	
	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
第 15 回	授業の計画・内容	模擬授業と相互評価 開発した教材を利用したマイクロティーチングを実施し、相互評価を行うことで、実践力を高める。	
	準備学習 (予習・復習等)	適宜紹介する。	60分
履修上の留意点等	受講する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必須な科目であることをしっかり自覚した上で出席し、かつ授業中は真面目に取り組むこと。尚、この授業は、4月の第1回、2回目は「リアルタイム配信型（教場での対面受講不可）」オンライン、3回目以降からは基本を対面とし、状況により半分の授業回を前述のオンライン授業とする。授業はC-Learning等を利用して実施。オンライン授業の実施日程等は、授業内で通知する。		
成績評価の方法		試験	
	60 %	レポート	
		小テスト	
	40 %	平常点	
教科書/テキスト	書籍名	教育の方法と技術（MINERVAはじめて学ぶ教職 11）	
	著者名	吉田武男（監修）、樋口直宏（編集）	出版社 ミネルヴァ書房

	出版年	2019年	価格	2,420円	ISBN	9784623085057
	備考					
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省） その他、必要に応じて、授業中に紹介する。					
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業中にアンケートを実施する。					
関連リンク						
実務経験がある教員による授業科目						
アクティブラーニング型の授業科目	状況に応じペアワーク、グループワーク等を適宜取り入れます。					